

2018年8月17日

報道関係各位

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

## 「PRアワードグランプリ 2018」 9月3日からエントリー募集開始

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：畔柳一典）は、「PRアワードグランプリ 2018」のエントリー募集を開始いたします。

PRアワードグランプリは、一般企業の広報部門やPR会社が実施するパブリックリレーションズの事例を広く募集し、審査を通して優秀な活動を表彰・公開するもので、日本のコミュニケーション技術の質的向上とパブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目指しており、2001年にスタートしてから本年度で19回目※を迎えます。

今年度はパブリックリレーションズ領域におけるプロフェッショナルの審査員に加え、アカデミズム・ジャーナリスト視点をもった審査員が一堂に会して審査を行うことにより、多彩なエントリーに対する評価を多角的な視点で評価を行い、PR業務の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。また、今年度もエントリー開始の9月3日から9月28日までのエントリーに関して、通常エントリーの半額のエントリー料で応募いただける「早期エントリー制」を導入し、応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2018年9月3日（月）から募集を開始し、早期エントリー締切は2018年9月28日（金）、最終エントリー締切は10月24日（水）17:00必着です。

エントリー方法・エントリーシートのダウンロードなどについては下記URLをご確認ください。

[http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2018\\_award](http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2018_award)

※ 2001年度は2回開催

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

●この件に関するお問い合わせ

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

担当：福家・渡邊・依田

TEL: 03-5413-6760

Email: award@prsj.or.jp

## 「PRアワードグランプリ 2018」募集概要

### ◇ 趣旨

パブリックリレーションズの活動事例を広く募集し、審査を通じて優秀な活動を表彰・公開し、日本のコミュニケーション技術の質的向上に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援：経済産業省・日本広報学会・公益社団法人 日本広報協会

### ◇ エントリー案件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動

(現在も継続中であれば過去に実施した活動も可)

### ◇ 対象期間

最近1年間に成果があがった活動

(複数年にわたり現在でも継続している活動も含む)

### ◇ 応募部門 (5部門)

#### ■ コーポレート・コミュニケーション部門

社会の支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進するためのコミュニケーション活動

※ 日常的な広報・PR活動、ブランディング、レピュテーションマネジメント、危機管理対策など

#### ■ マーケティング・コミュニケーション部門

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

※ イベント・キャンペーン、パブリシティ、ウェブサイト、ソーシャルメディア (ブログ、フェイスブック、ツイッターなど)、各種アプリ、カスタマーリレーション施策など

#### ■ ソーシャル・コミュニケーション部門

企業・公共機関・団体が社会の重要な構成員として、積極的に社会的課題の解決への取組や社会貢献の推進を行うためのコミュニケーション活動

※ ソーシャル・イシュー解決のためのコミュニケーション、CSR活動、環境コミュニケーション、NPO、NGO活動など

#### ■ インターナル・コミュニケーション部門

組織内における所属員へのビジョンの浸透、価値観の共有、行動喚起、内部コミュニ

ケーションの活性化など、インターナル・ターゲットに対する広義のコミュニケーション活動

※ 内部向けコミュニケーションシステム、ツールの開発、継続的な内部向けイベントメディアを通じた活動など

■調査・研究部門

独創的なアイデアや手法で広報・PR領域における調査研究・理論構築を行い、業務の発展に寄与貢献した活動

※ PR領域における調査・研究活動とその理論化・情報発信、PRパーソンの人材育成、業務マネジメント、およびサービス・技術・システム・ツールなどの開発や実践

- ◇ 募集期間 : 2018年9月3日(月)～2018年10月24日(水) 17:00 必着  
早期エントリー締切: 2018年9月28日(金) までの  
受付記録があるもの  
最終エントリー締切: 2018年10月24日(水) 17:00 必着

◇ エントリー方法

- ① 「PRアワードグランプリ 2018」 エントリーフォームに必要事項を入力し、エントリーシートを添付して登録。
- ② エントリー完了後に、エントリー料の請求書を送付。  
2018年11月14日(水)までにお振込みをお願いします。

詳細は下記 URL をご確認ください

→ [http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2018\\_award](http://prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2018_award)

◇ エントリー料

早期エントリー: 10,800円/1エントリー (消費税込/振込手数料別途)

最終エントリー: 21,600円/1エントリー (消費税込/振込手数料別途)

◇ 審査方法

審査委員長のもと、9名の審査委員で審査団を構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。部門横断で全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査団の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. グランプリ選出審査 (11月中旬予定)

審査員団が全エントリーを審査。

審査終了後、審査結果をご担当者にごメールにてご連絡いたします。

2. 表彰式について

受賞エントリー (シルバー以上) については、12月11日(火)に実施される表彰式

でプレゼンテーションしていただきます。

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者にごメールでご案内いたします。

日時：2018年12月11日（火）17：00～20：00（予定）

会場：時事通信ホール

◇ 表彰

「グランプリ」：1点（トロフィーを授与）

「ゴールド」：2点（トロフィーを授与）

「シルバー」：5点（トロフィーを授与）

「ブロンズ」：7点（表彰状を授与）

※上記は目安であり、最終的な表彰点数は審査団の協議により決定いたします。

<審査委員会>（敬称略、50音順）

■審査委員長

嶋 浩一郎（株式会社博報堂ケトル 代表取締役社長・共同CEO）

■審査委員（9名）

阿久津 聡（一橋大学大学院 経営管理研究科 教授）

井口 理（株式会社電通パブリックリレーションズ 執行役員）

上岡 典彦（資生堂ジャパン株式会社 CSR・コミュニケーション部長）

河野 あや子（グーグル合同会社 広報部 執行役員広報部長）

高雄 宏政（公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 顕彰委員会／株式会社タカオ・アソシエイツ 代表取締役社長）

高木 恵子（株式会社旭エージェンシー 代表取締役社長）

田中 里沙（事業構想大学院大学 学長／株式会社宣伝会議 取締役）

松本 理永（株式会社サニーサイドアップ バイスプレジデント）

横田 和明（株式会社井之上パブリックリレーションズ

アカウントサービス本部 戦略企画部 部長）

◇ その他

「PRアワードグランプリ 2018」上位入賞者は下記をはじめとする協会活動にご協力いただきますので、ご了承ください。

- ① PR S J Webサイト・アーカイブで受賞者の発表および活動内容の紹介（エントリーシート of 公開を含む）。
- ② 協会出版物（「PR Yearbook」「協会ニュース」など）にて受賞者の発表および活動内容の紹介。
- ③ PR S J主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介をしていただく場合があります。
- ④ 今後のPRアワードグランプリなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑤ 展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」受賞作品一覧（会社名は当時）

2017 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	ヤフー(株)	「ちょうどこの高さ。」
ゴールド	(株)電通	この国に眠る 女性 300 万人の[潜在労働力]に活躍の場を。主婦を活かす、新・マクドナルド人事戦略PR
	(株)電通	聞こえる選挙   東京都議選, 衆議院選特設サイト
	(株)電通	FISHERMAN CALL
シルバー	(株)アサツー ディ・ケイ PARTY	WITH STAMP (=Your name with REDLIST Animals)
	(一財)日本気象協会 (株)オズマピーアール	「業界の壁」を取り除く日本気象協会の共創型 BtoB コミュニケーション「気象」×「ビジネス」でサプライチェーン全体の位置づけを変える!
	株式会社サニーサイドアップ	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 PR・プロモーションプロジェクト
	ロコモ チャレンジ! 推進協議会 (公益社団法人日本整形外科学会と株式会社博報堂の JV)	7年間のロコモティブシンドローム啓発運動 ~課題先進国だからこそできた CSV プラットフォーム~
ブロンズ	(株)電通パブリックリレーションズ (株)電通	社歌で中小企業を元気に! 中小企業、支援プロジェクト
	(株)電通 (株)電通パブリックリレーションズ	PR パーソン生まれの“味のメディア化”『プリウス試乗味プロジェクト』
	電通ヤング・アンド・ルビカム(株)	Banana Message
	(株)電通 (株)電通パブリックリレーションズ	おいしいプログラミング学習アプリ [ GLICODE® ]
	(株)電通デジタル	「定時退社訓練」by よなよなエール ~「働き方改革」に本音とユーモアで一石を投じて、国と企業と生活者を動かせ~
	(株)LIXIL	LIXIL「グローバルな衛生課題の解決」に向けて
	(株)電通	TRY! Noodle Cradl 検証! うどんをすする音で本当に赤ちゃんは泣きやむのか?

2016 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)井之上パブリックリレーションズ	スマートフォン(スマホ)での領収書電子化と原本の長期間保管義務撤廃を実現する規制緩和プログラム ~日本企業の利益率とビジネスパーソンの生産性向上を阻害する紙での経費精算業務を駆逐し、働き方革命実現へ~
ゴールド	学校法人近畿大学	PRのチカラでウナギの絶滅を防げ! 「近大発ナマズ」の研究・広報一体化コミュニケーション戦略
	(株)博報堂 (株)エムスリー・カンパニー	カルビーフルグラ 2011 年から 2015 年度までの 5 年間で売上 37 億→223 億まで成長させた朝食革命
	(株)電通	森永製菓「フレフレ、部活。母校に in ゼリー」キャンペーン
	(株)電通パブリックリレーションズ (株)電通 電通アイソバー(株)	LOVE THERMO #愛してるで暖めよう

シルバー	(株)ポーラ・オルビスホールディングス	『美婆伝』90歳を越えても美しく働き続ける11人の物語 ～ポーラ、ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み～
	関市 (株)オズマピーアール	SEKIシティプロモーション
	(株)オズマピーアール	心臓病の子どもたちの“初めての運動会” ～Challenging Heart Day～
	(株)アサツー ディ・ケイ	ADK RECRUIT 2017 相棒採用
ブロンズ	日本放送協会	プロフェッショナル私の流儀 ～NHK 番組公式ジェネレーターアプリ～
	(株)電通	ソーシャルメディア時代の“技術訴求コンテンツ PR”プリウス部品の擬人化キャンペーン 『PRIUS! IMPOSSIBLE GIRLS』
	(株)大広	『心止村湯けむり事件簿   AED サスペンスドラマゲーム』～ユーザーとメディアが自ら広め続ける「エンタメコンテンツ PR」～
	(株)博報堂	奈良大学 全学学生プロジェクト 美し記～utsukushiki～
	(株)電通	10分どん兵衛
	(株)博報堂 (株)博報堂DYメディアパートナーズ	広告会社だからこそその休暇取得促進施策「BRUTUS 特別編集フリバカノカATALOG」
	(株)資生堂 (株)博報堂ケトル	世界初！オンライン会議システム×メーキャップシミュレーター機能で、オンライン会議のためだけのメイクから在宅勤務女性を開放する新アプリ「TeleBeauty(テレビューティ)」発表。
	(株)プラップジャパン	アキュビュー® スポ×コン応援団「読めない看板」
	Airbnb Japan(株) (株)プラップジャパン	企業サービス浸透プロジェクト 「史上初、Airbnb で東京タワーに泊まろう！」
	(株)電通	Second Life Toys

#### 2015 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	カゴメ ウェアラブルトマトプロジェクト
コーポレート・コミュニケーション部門	学校法人 近畿大学	近畿大学 知と汗と涙のコミュニケーション戦略
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)電通	ロッテ ガム市場の活性化 PR “噛むチカラ”の復権！ウェアラブルデバイス『リズムカム』
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)アサツー ディ・ケイ	つくば市総合運動公園建設計画の是非を問う PR プロジェクト
イノベーション/スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	産学連携:危機管理イノベーション・プロジェクト ～危機事象についてメディアと企業のギャップを調査し、新たな危機管理フレームワークを開発。 日本企業の危機管理をデータ・ドリブンなソリューションへと進化させた。危機管理の取り組みが企業の成長を後押しすることが明らかに～

## 2014 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通	「地方の生産者と、都市の生活者との断絶を克服。世界初の食べる月刊情報誌「東北食べる通信」 創刊 & ブランディング作業」
	ファイザー(株) (株)オズマピーアール	「ピリピリ！ジンジン！チクチク！見えない痛みどう伝える？ 産学共同プロジェクト『オノマトペラボ』 「痛みのおノマトペ」で医療現場におけるコミュニケーション課題を解決」
コーポレート・コミュニケーション部門	旭硝子(株)	「世界最高峰のスポーツイベントFIFA W杯で、史上初のガラスベンチルーフのライセンス権獲得と戦略的PR展開による低予算での全社的なAGC旭硝子グローバルブランディング・プロジェクト」
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)伊藤園 ピーアールコンビナート(株)	「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞の25年(四半世紀)」
イノベーション／スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	「広報オクトパスモデル開発 上場企業の広報力比較調査 ～広報業界のさらなる発展をめざして～」

※なお、2014年度はグランプリが2作品ともソーシャル・コミュニケーション部門より選出されたため、同部門最優秀賞は該当なしとなりました。

## 2013 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)TBWA 博報堂／(株)博報堂	「土のフルコース」プロトリーフ社のコーポレートコミュニケーション
コーポレート・コミュニケーション部門	東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会	東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致における戦略広報活動
マーケティング・コミュニケーション部門	アッヴィ(同) エーザイ(株)	10月29日「世界乾癬デー」啓発イベント『“美容師の卵”がはじめて学ぶ乾癬患者さんの気持ち』
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)ワカゾウ	選挙割(センキョ割)
イノベーション／スキル部門	(株)博報堂	「転載」を活用した中国での科学的PR手法

## 2012 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	もっとクロス！計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～
コーポレート・コミュニケーション部門	大阪市交通局／(株)博報堂／(株)大広 ／(株)オズマピーアール	「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN それいけ！ OSAKAはっけん隊
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)電通／森永製菓(株)	森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場 活性化を目的としたPR活動
ソーシャル・コミュニケーション部門	ブルーカレント・ジャパン(株)	熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知 向上 教えて！「かくれ脱水」委員会

## 2011 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	議会広報紙のイノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～



コーポレート・コミュニケーション部門	(株)オズマピーアール	宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)電通 関西支社 / (株)電通パブリックリレーションズ 関西支社	「アイスの実」キャンペーン 2011PR活動
ソーシャル・コミュニケーション部門	セカンドハーベスト・ジャパン	被災地 石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後からの支援活動～
イノベーション部門	(株)博報堂	「マーケティング 3.0＝世の中と企業が価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーレブンプログラム」

#### 2010 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	小林製薬(株)	小学校のトイレピカピカ計画 ～企業・NPO・行政が一体となった小学校のトイレ環境を改善する活動～
コーポレート・コミュニケーション部門	キッコーマン(株)	キッコーマン上海万博プロジェクトによる日本食文化の発信
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)ワコール (株)インテグレート	ワコール エイジングケア啓発プロジェクト ～日本人女性の下着選びの意識を変えたIMC戦略
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)TMオフィス	畳新市場開拓プロジェクト「畳ドクター」認定による畳の復興PR戦略
スキル部門	(株)電通 (株)電通パブリックリレーションズ	PR効果分析ツール「PR@NET SCOPE」(プラネットスコープ)

#### 2009 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	北海道米ブランド創造プロジェクト
日常広報活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	牛乳供給危機 ～30年ぶりの乳価値上げを目指したPR活動
キャンペーン部門(単年度・単発型)	(株)arex	事故米の風評被害を受けた食品会社のレピュテーション回復のための危機管理広報
キャンペーン部門(複数年度・継続型)	エム・エム・エス・コミュニケーションズ(株) MS&L	夕張市再生支援・「夕張夫妻」プロジェクト
イベント部門	(株)電通パブリックリレーションズ	日本農産物について中国のバイヤーからの認知獲得をめざしたPR活動
ツール・スキル部門	(株)野村総合研究所	生活者視点による、新しい広報・PR効果測定サービス(ツール)の提供

#### 2008 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	10年ぶりの改訂『広辞苑第6版』発売PR ～ネット全盛時代に「紙の辞書」の有用性を語る～
日常広報活動部門	(株)コムデックス	『魚鱗癬』の啓発活動
キャンペーン部門	日本ミシュランタイヤ(株)	『ミシュランガイド東京』発刊へのPR活動
イベント部門	ピーアールコンビナート(株)	ケルヒヤー『松田川ダム エコ・アート』プロジェクト
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	『数字に見る医療と医薬品』(年刊)発行

## 2007 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)	女性が働きやすい社会をめざして ~ダイバーシティ推進と女性活用からの学びを通じた社会貢献~
ルーティン活動部門	ピーアールコンビナート(株)	ロッテの四半世紀にわたるチューインガムの社会的価値向上活動
キャンペーン部門	キッコーマン(株)	キッコーマン アメリカ進出 50 周年プロジェクト
スキル部門	(株)タカオ・アソシエイツ	広報・危機管理マニュアルの作成・発行

## 2006 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	ファイザー(株)	喫煙者の禁煙意識向上とニコチン依存症の疾患啓発活動
ルーティン活動部門	帝人(株)	帝人グループの認知度向上プロジェクト
キャンペーン部門	(株)電通	牛井復活に対するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	中心市街地活性化に係る国民への広報のあり方に関する調査研究

## 2005 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	地球温暖化防止「国民運動」
ルーティン活動部門	小林製薬(株)	更年期障害の啓発と「命の母」のPR活動
キャンペーン部門	(株)プラップジャパン	食物繊維の新たな機能「ファイバーデトックス」を訴求するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通	報道レピュテーション分析プログラム

## 2004 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)オズマピーアール	「えひめ町並博 2004」PR 活動
ルーティン活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	痴呆症啓発のための調査研究プロジェクト
キャンペーン部門	日本ゼネラル・エレクトリック(株)	『地域に役立つ発明家になろう』プロジェクト
スキル部門	(株)高雄宏政事務所	広報効果測定のための報道記事分析の開発
	(株)博報堂	子どもたちの国際理解のために『日本・中国・韓国の昔話集』1～3 巻を作りました

## 2003 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	トヨタ ラウム ユニバーサルデザイン広報
準グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	『JICA 有名化計画』独立行政法人化・広報支援プロジェクト
準グランプリ	松下電池工業(株)	インターネットを使った「遠隔 電池教室」

## 2002 年度

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	浦安市 ごみ減量・リサイクル啓発プロジェクト
優秀賞	(株)オズマピーアール (株)博報堂	丸ビルグランドオープニングを中心とした年間広報活動
優秀賞	(株)電通	カレー再発見フォーラム

## 2001 年度(秋)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「伊藤園 お〜いお茶 新俳句大賞」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	ノバルティス「すこやか 5 世代」キャンペーン 2001
優秀賞	伴ピーアール(株)	近畿 1400 万人の飲み水を美しくするヨシ。その琵琶湖 ヨシの保護と活用。

## 2001 年度(春)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)博報堂	「納豆 金のつぶ におわなっとう」キャンペーン
優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「ロッテ しっかり噛んで健康家族」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	食のスマートライフ実現のための調査・広報活動

## 添付資料 2

### 公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、1964年に結成された日本PR協会と1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約530名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」の刊行、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞 PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上などに取り組んでいます。

2007年には、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など幅広い人々に「認定PRプランナー」としての資格を付与しています。

また2009年には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

2010年4月に「広報・PR概論（PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト）」、2011年3月に「広報・PR実務（PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト）」、2012年4月に「広報・PR 資格試験問題集 PRプランナー資格認定制度 1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F  
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147